



## 福智町誕生から5年——

徐々に醸成されつつあるみなさんの福智町に対する“ふるさと”意識が、今後のまちづくりを推進していく上で必要不可欠です。

### 緊急雇用対策

福智町でも、雇用・就業機会を創出するための予算を国からいただいているので、それを活用し、求職者の生活支援に役立てます。

### 電算機器更新

合併時に構築したサーバー機器が更新時期を迎えています。日常業務や住民サービスに支障をきたさないためにも、本年度は機器等の更新を行います。

### 保険・医療制度

年々増加傾向にある国民総医療費。本町の国民健康保険運営も非常に厳しく、財政構造は硬直化しており、医療費の抑制に向けて、より一層の取り組みを進めていかねばならないと痛感しています。また「後期高齢者医療制度」については、現在、廃止や県単位での制度運営について、国が検討中です。国の動向を見ながら、福智町の国保・後期高齢者医療への対応をしていきたいと考えております。

### 高齢者介護予防

高齢者の生きがいづくりや要介護・要支援者に対する支援の充実を図り、元気で長生きできる環境整備に努めます。さらに、民生児童委員会や在宅介護支援センターなどと連携し、独居高齢者等の把握と見守り活動を充実させたいと思います。健康相談や健康教室にも多くの人に参加していただけるよう、活発に働きかけを行っていきます。介護保険

### ごみ処理施設

「新ごみ処理施設」の建設については、田川市と川崎町に1か所ずつ候補予定地があり、どちらにするかは絞り切れていません。現施設の老朽化を考えると、早急に新ごみ処理施設建設に着手しなければならぬと考えています。

### 町営住宅建て替え

現在、町内の町営住宅は1千992戸。大部分が昭和40～50年代にかけて建設されたもので、建て替えが必要なのは、順次建て替えを進めています。本年度は、上の原団地、平原団地、宝見団地、向陽団地の建て替えを計画しています。また、伏原団地建て替え工事に伴う基本設計作成も行いたいと考えています。

### 建設土木事業

緊急性と予算規模を考慮しつつ、環境保全のための道路・歩道・河川等の設備や維持補修を行う予定です。特に、障がい者や高齢者が安心して利用できるよう、歩道のバリアフリー化などに努めていきます。病害問題については、石炭六法失効後、特定鉱害地域に起因する浅所陥没等に限定されていますが、可能性のある地域にはボーリング調査の要望を行いながら、被害者救済に尽力いたします。また、就労事業は、平成19年度からの4年間の暫定措置も、今年3月末で終息を迎えました。しかし、本年度1年間限定で、緊急雇用対策として、

については、本年度は現行の「第4期介護保険事業計画」が見直され、平成24年度から3年間の「第5期介護保険事業計画」が策定されるため、その対応について準備を進めていきます。残念ながら介護保険の出現率・給付額ともに、福智町は全国一であり、この改善のためにも、介護予防事業の充実を注いでいきます。

### 障がい者自立支援

障がい者のかたが自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスや給付等、支援の改善を図っていききたいと思います。

### 子育て支援事業

赤ちゃんの生まれた全家庭を保健師が訪問し、育児不安の解消を図る「乳児家庭全戸訪問事業」を実施します。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、乳幼児健康診査や予防接種事業、児童虐待防止対策事業を行い、と考えています。さらに、妊婦健診事業についても、14回の助成措置を継続し、安全に安心して出産に臨んでいただければと願っています。学童クラブの対象学年を、現在の小学3年生から小学6年生までに拡充し、共働き世帯の子育てを支援したいと考えています。

### 健診・予防接種

特定健診・特定保健指導の結果から、町内の国保加入者に高血圧や糖尿病を発症する危険性が

福岡県から5人の雇用枠をいただく予定です。事業終息後の雇用問題は重要であり、周辺の自治体とも連携をとりつつ、新しい事業の創設に向け、国や県に働きかけていく予定です。

### 農業土木事業

整備の遅れている地域について、今後補助事業を活用し計画的な改善対策を講じていきます。また、ほとんどの地域で農業用施設の老朽化が進み、漏水や施設の劣化などが現れています。このため、平成21年度からは「農村振興総合整備事業」に取り組み、生産力向上に努めているところです。この事業は、老朽化により漏水している農業用水路、ため池の取水施設および護岸、農道、井堰などの農業用施設を整備していくもので、広範囲の農業用施設の改善が可能となり、福智町の農業振興に寄与できるものと考えています。

### 水道水供給事業

現在、建設工事中の県営伊良原ダムの完成予定が平成29年度に変更されました。旧町から運営している水道施設は老朽化が著しく、効率性・経済性のため、簡易な維持補修を行って対応します。平成30年度には、田川地区水道企業団からの取水が現行の倍近くに増量となり、それに合わせた配水池、配水管、送水管、浄水場の計画的な改善・整備・統合等が不可欠です。田川地区水道事業の広域化も視野に入れつつ、対処していきます。

高い人や、発症しても治療を受けずに放置している人が多いことがわかっています。この状況を改善し、医療費を抑制していくためにも、生活習慣病予防対策を進めていかねばなりません。また、昨年末に新たな補助制度が導入されたことを受け、ヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンの予防接種も行っています。さらに、子宮頸がん予防ワクチンの接種事業も充実強化を図りたいと思っています。

### 人権と福祉の町

お互いが認め合い支えあえる、そんな地域社会の実現こそ、行政に課せられた最大の責務です。すべての人が心豊かに、人間らしく暮らせるよう、平成19年3月に策定された「人権と福祉のまちづくり総合計画」を基本とし、福智町から一切の差別をなくす取り組みを、着実に進めていきます。また「ふれあい交流（ミニデイサービス）事業」の町内全域での実施や、人権を基盤とした地域の教育力向上に向けた取り組みなど、地域に根差した活動を展開していきたいと思っています。

### 福祉施設民営化

老朽化と運営状況が深刻な養護老人ホーム「天郷荘」については、民間移譲も視野に入れながら、今後の具体的な方向付けを本年度中には決定したいと考えています。また「第一保育所」についても、本年度中に民営化の具体的推進を実行しなければと思っています。

### 町立両診療所

コスモス・方城診療所は、将来的な医師確保という厳しい問題に直面しています。「診療所改善協議会」でいただくご意見なども参考にしながら、さまざまな視点から検討を重ねていきたいと思っています。

### 赤池方城両支所

赤池・方城支所は、合併後の5年間で徐々に機能の縮小を行ってきました。図書館や歴史資料館への用途変更を望む声も多く、そうしたご要望も勘案しつつ、本年度中には、具体的方向づけをする予定です。

### 教育環境整備

町内小中学校での少人数授業の実施や読書環境の充実、子どもたちの安全面の確保など、教育委員会と連携して取り組みを進めていきます。また、小中一貫教育についても検討を重ね、多面的な教育施策の推進を図ります。本年度は、赤池中の校舎建て替えや弁城小・伊方小の体育館の改築工事を実施する予定です。

### 文化環境の充実

みなさんが心豊かに、目的意識を持って過ごすためには、文化的環境の整備が必要になってきます。福智町では、文化連盟を中心に、さまざまな取り組みが行われており、徐々に文化的風土が培われてきたのではないかと思います。そうした流れに加速をつけ、文化的環境の充実に努めたいと考えています。

